

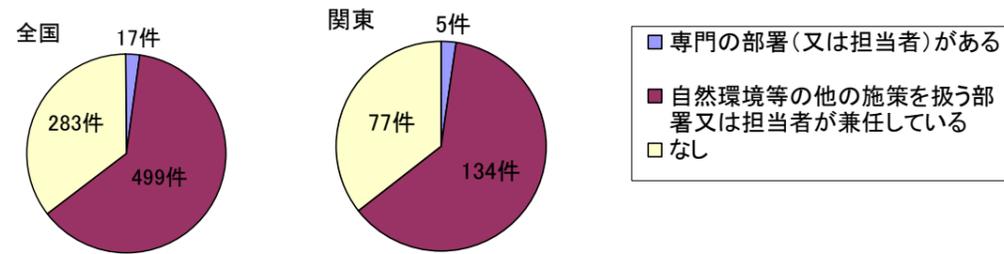
1. 概要

地域連携保全活動基本方針の検討に当たって、その基礎資料とするため、地域における生物多様性保全活動の実態について、地方公共団体に対するアンケート等により把握した。また、アンケート等によって収集した地域における生物多様性保全活動のうち、地方公共団体が積極的に関わるとともに、同基本方針の検討に当たって特に参考となるようなものについて整理した。

2. 生物多様性保全にあたっての地方公共団体の体制・施策

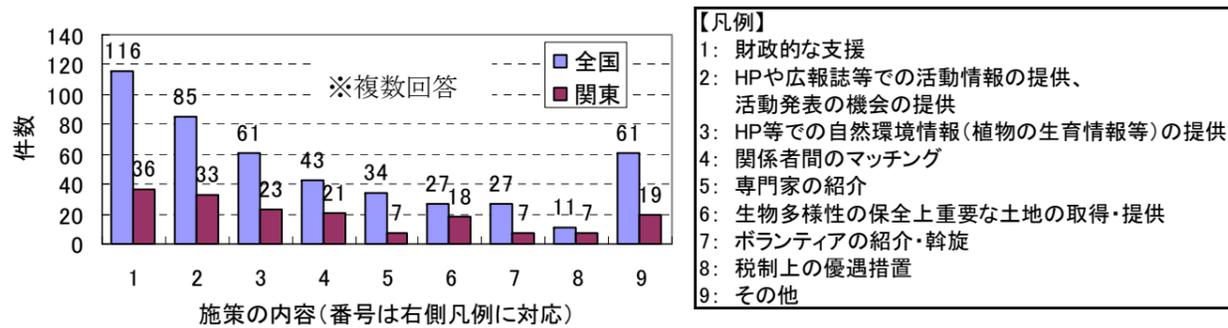
全国の地方公共団体(47都道府県、1750市区町村)にアンケート調査を実施した結果、1089通の回答を得た。現在までに集計した808件(うち関東地方129件)について、その結果概要を示す。

1) 生物多様性を扱う部署・担当者 ※有効回答数799件(うち関東地方216件)



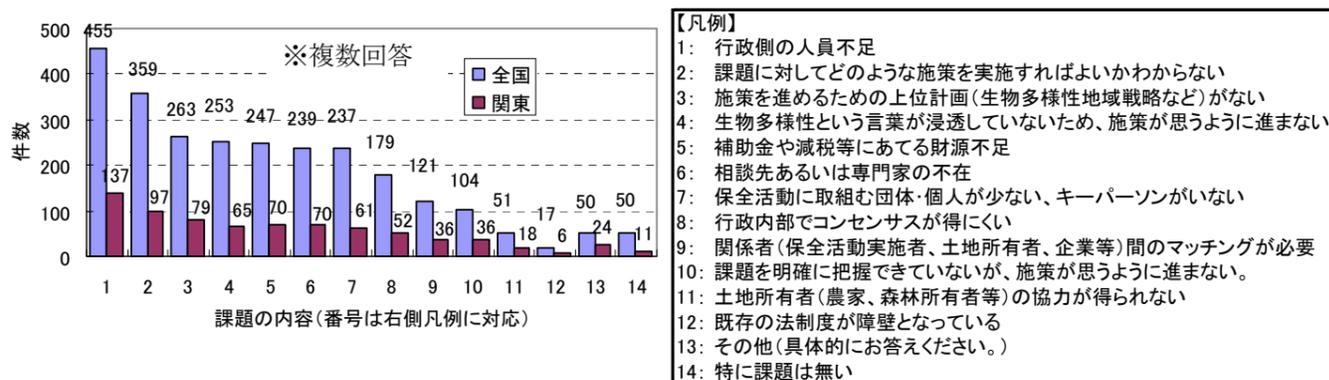
2) 地域における生物多様性保全活動を支援する施策

※施策が「有」と回答した地方公共団体161件(うち関東地方56件)



3) 生物多様性保全の施策を促進するにあたって感じている課題

※有効回答数755件(うち関東地方205件)



3. 地域における生物多様性保全活動の事例

1) 里地里山保全再生モデル事業その後(神奈川県秦野市)

・・・都市近郊における里地里山の保全・活用

■取組内容

「里地里山保全再生モデル事業」(環境省:平成16~19年度)の事業実施地域の一つである。里地里山保全活動のアクションプランである「地域戦略」を策定し、それに基づいたボランティア制度(研修、登録)、活動フィールド登録制度、情報発信、荒廃農地の解消と活用、バイオマス利用、水源の保全、里地里山保全管理手法の検討、谷戸の保全(生き物の里の指定)等に取組んでいる。



里地里山保全再生モデル事業地域戦略(表紙)  
(平成18年3月、平成19年2月一部改訂、秦野市)

2) 市民健康の森づくり(神奈川県川崎市)

・・・都市における生物多様性の保全

■取組内容

市内7区に1箇所ずつ、市民健康の森づくりとして、区域の選定はじめ構想段階から市民が参画して地域特性を活かした森づくりを行政と地域住民が協働して取組んでいる。下草刈りや植樹など通常の里山保全管理に加え、生物にも配慮したゾーニングによる細やかな管理や、森によっては本格的なビオトープ整備等、各地区の市民による主体的な活動が実践されている。



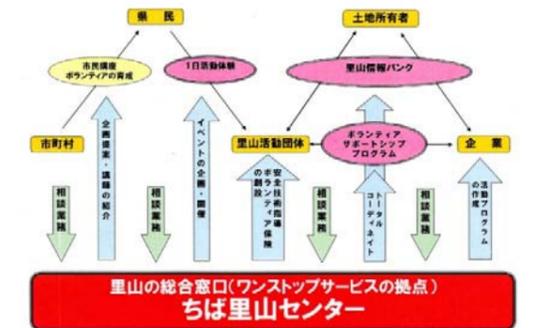
湧水地流れの整備(春日台公園(高津区))  
(提供:川崎市環境局)

3) 里山情報バンク制度(千葉県)

・・・行政とNPO法人の協力によるマッチング

■取組内容

里山活動団体による里山の保全・整備を一層促進するため、千葉県とちば里山センターが協力して里山情報バンク制度を創設した。土地所有者による整備が困難となった森林の情報を県が市町村や森林組合の協力により収集し、ちば里山センターがその情報を里山活動団体や企業に提供することにより、ボランティアによる森林整備を促進している。平成23年1月までに115件の里山活動協定が締結され県の認定を受けている。



ちば里山センターの事業  
(出典:ちば里山センターHP)